広報 るもい

發行所
留萌市役所
電話（代）270番
編集人
總務課長 田邊勝郎
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
（毎月1回 1日發行）

10月中の人口のうごき

世帯數				8,183世帯
人口	總數			38,146人
	男			19,195人
	女			18,951人
	出生	死亡	轉入	轉出
男	21人	12人	100人	81人
女	28人	4人	80人	52人
計	49人	16人	180人	133人

不幸な方に温い手を！

全市民の隣人愛で 年末たすけあい運動

本年はなんと不幸な年でしょう。期待した春にしんは大凶漁となつて漁民の皆さんを悲しみにおとし、また内地は昨年に続いて豊作だというのに、北海道は大正二年以來の大凶作で農民の皆さんは悲惨な実状にあります。この農漁村の凶漁凶作は全市に影響して失業者や生活保護をうける人がだんだんとふえてきております。指折り數えて待たれる楽しいはずのクリスマスやお正月もお祝いするどころでなく、その日の生活にも困つてこの寒い冬を越せずに泣いている不幸な方がたくさんおります。社会福祉事務所の窓口には毎日このような氣の毒な方が相談に來ております。

「年末たすけ合い運動」はこのような氣の毒な方々に温い愛の手を差しのべて共に少しでも楽しいお正月を迎えておあげしよう、いくらかでも暖かい冬を越させてあげようというもので毎年この運動が行われておりますが、本年ほど市民の皆さんの御協力を期待する年はありません。

留萌市でこのような不幸な方は次のような數字となつており、このほかに數字に表われない方も相当あると思われますし、本月になつてからまだまだ増えるみこみです。市民の皆様どうかこの運動に御協力下さつて、皆様の温い贈物で不幸な人を一人でも少く、全市民的な隣人愛で進んでこの運動に御協力下さるようお願いいたします。

★ 募金のほか、衣料品、長靴、学用品、絵本など市役所社会福祉事務所で取扱つております。

★ 留萌市の扶助を受けている人員（十月末現在）

	世帯數	人員
生活扶助	一四八	六〇九
住宅扶助	五四	二四四
教育扶助	八七	二一一
医療扶助	九九	一一四
計	三八八	一、一七八

★ 扶助を受けている人のほかに

欠食児童 一二八人

冷害によつて五分作以下の農家二八五戸（その農家の学童數六二三人）

映画前賣券で募金

年末たすけあい運動の資金にするため留萌市冷害凶漁生活困窮者救援運動委員会では、十二月十三日から四日間日本劇場で上映される名画「嵐」の前賣券を賣りだしております。どうか皆さん御協力下さい。

二百万円の借入 きまるもよう

公益質屋の現況

皆さんに大変御迷惑やら御不満をおかけした公益質屋は、その後この建直しに努力してまいりました結果どうやら順調な歩みをたどることができるようになりました。しかし凶漁凶作のこの不況な年末をひかえてこの質屋を大いに利用していただき、御満足を與えるためにはどうしても資金の借入れが必要です。このため先般から道や中央に二百万圓の借入れをお願いしておりましたところ、大体許可になるもようです。

公益質屋の貸付條件や現況は次のようになつております。

貸付人員 貸付金額 貸付現在額

四月	二八	一九七、〇〇〇円	四八五、五二〇円
五月	三五	一八五、七四五	六三五、四六五
六月	二八	九五、三五〇	六八五、七一五
七月	二五	七九、四五〇	七二八、七六五
八月	四八	一八一、五一〇	七七七、一七五
九月	四五	一六九、四〇〇	八二六、一二五
十月	六二	三三四、五四五	八〇六、六二五
計	二七一	一、一四一、〇〇〇	

貸出…生活資金五千圓まで
生業資金一万圓まで
利子…一カ月三分
十五日以内はその半分
流質期限…四カ月

赤いハネ

御協力に感謝

〝赤いハネ〟共同募金は皆さんの御協力によつて目標額五十万円に対し、現在三十八万七千六百円の募金が集つております（このうち街頭募金の分が九万八千八百円）まだ集つておらない地区がありますので、この分を合せると、大体目標額に近づくのではないかと思つております。

社会福祉のため御協力下さつた皆さんありがとうございました。

クリスマス、ツリーや門松の使用を自しゅくいたしましょう

北海道の森林は、永い間あまりきりすぎたり、台風などのため大變あれております。そのため國では森林資源を保つためと洪水のおこらないようにするために造林事業に力を入れております。北海道では毎年六万町歩の植樹が行われて道民の生活安定と向上を目標に國土緑化を進めておるのであります。このようなときに、一方でクリスマス、ツリーや門松用の若木がきられることは大變残念なことです。

このため「クリスマス、ツリー及び門松の使用自しゅく運動」を全道的な運動として進めることになりました。市民の皆様の御協力をお願いいたします。

▲クリスマス、ツリーは、樹木の代りのものを利用して樹木の使用を自しゅくする。

▲やむを得ないで樹木を使用するときは間伐した木や枝を利用すること。

▲正月用門松は竹門松、又はカード等の代りの物を利用する。

▲幹松を使わず、樹木を傷めない程度の枝打による枝松の使用にとどめること。

世界人權宣言 八週年を迎えて

皆様。この十二月十日は世界人權宣言が国際連合により採擇された八週年の記念日にあたります。

第二次世界大戦は世界中の人々に戦争の恐怖と悲劇とをしみじみと味あわせました。そして世界各国が過去の悪夢から醒め、あの恐ろしい戦争を再び繰り返さぬよう、互に人間の自由と權利とを尊重し合つて世界永遠の平和を打樹てることを約束し、世界人權宣言を發表したのでした

人間の自由平等と幸福に生きる權利とは、私達が生れながらにして天から授けられたところの權利でありまして、この權利こそは何人も犯すことのできない尊いものなのであります。

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」とは福澤諭吉先生の言葉でありますが、この言葉は、私達人間の立場は生れながらにして平等であることを示した味あうべき言葉であつて人間は皆同じラインから人生へ旅立つた譬ですが、途中で躓いて轉んだ人も、又足が弱くて歩き遅れた人でも皆同じ地上に立つていると言う姿を現わしたものであり、そこには上下の差別はなく、男と女、金持と貧乏人、地位のある人ない人、主人と雇人と言つたような関係は何れも同じレベルの異つた立場に過ぎない譯で、人間の資格に差別を設けたものではないのであります。

しかし、我が國は昔、士農工商などと言つて明らかに人間に上下の階級を設け人間が人間を支配し、壓迫していた時代があり、この制度が廃止された後も終戦前の日本では、この封建時代でのしきたりで役人が威張つたり、地主が農民をドレイ扱いにしたり、籠の鳥の女がいたり、赤い帛を身にまとつた土方が牛馬の標に扱われたりすることが公然と行われ、それがあたりまえの様に考えられていたのでした。

しかし、日本が戦争に敗れ、焦土の中から祖国再興のため起きあがる杖として與えられた民主々義は、自由人權を土台として、人間同志が平等な立場にたつて互に手をたずさえて個人の幸福と社会の進歩向上とを実現して行く、新らしいコースなのでした。

今日、日本が民主獨立国家として國際社会の仲間入りをしたからには國民各自が民主國民たるに相應しい自由人權思想を身につけることに努めなければなりません。

人間の自由とは何人にも拘束されず行動し、日常の出來事や社会の現象に対して自分の信ずる意見を卒直に述べ、他人の意見をも傾聴批判して正しい結論を見出してそれを実行に移すと言うこと。又擁護の途としては互に弱い者や不幸な境遇にある人をいたわり、助け合つてめいめいの生活を向上させ、お互の幸福を追及すると言う、つまり友愛から出發した人間尊重の精神を養うことが必要です。

更に私達の生活の周囲に若し人權を無視し、他人の自由を拘束したり、壓迫したりして弱い者いじめする者がある場合には、互に戒めあつて今日の民主社会から不当な支配力や、暴力や、身賣りや、官憲の横暴を締め出すことに努めてゆかなければなりません。

日本獨立と世界人權宣言八週年をむかえた今日、私達は改めて私達の日常生活やその周囲を省みて民主國民としての自覚と人權尊重の精神を一層強固にすることに心がければならないと思います。

尚人權擁護のことについてお困りの方は、どうぞ遠慮なく人權擁護委員、又は法務局に御相談下さい。

当市の人權擁護委員の方々です。

明元町五丁目五四
齒科醫 伊佐[illegible]

本町四丁目
藥劑師 玄[illegible]

（筆者は旭川地方法務局[illegible]）

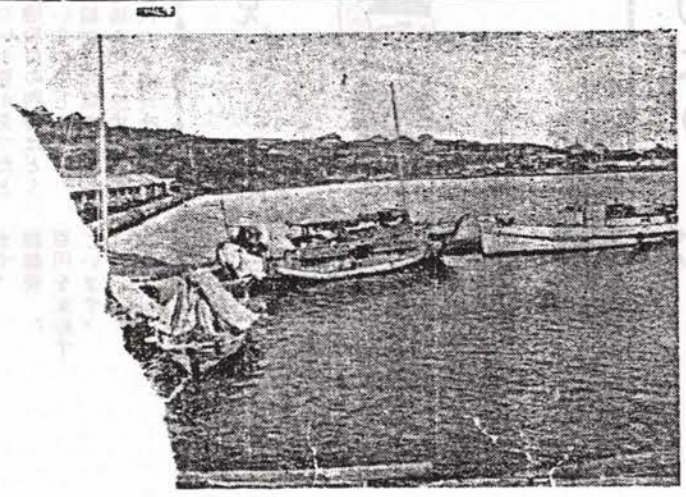
郷土室 ②

＝留萌地方のアイヌの風俗＝

留萌地方のアイヌについて古老の話を書いてみよう。

「留萌のアイヌはビラ、コタン、ウスヤの三箇所に居たが、コタンのアイヌはすべて栖原（場所請負人）の使用人で、衣食その他は全部栖原から供給を受けたのである。それでアイヌは子供が生れると同時にお椀で一パイづつ米（アイヌは玄米食白米はたべない）を栖原からもらつたものである。アイヌは自分の年もが、シャク、フキ、ヒル（何れも全道至る所の山野に大きく發生）などを採つて、さけその他の魚米などを一つのなべに入てぞうすいのようなものを作つて食べました。これは私たちには仲々食べられません。

家は全部ささでかこいますが、すべてはじ面でこれを編み織り立てゝ壁、壁根などます、窓は二カ所作りますが、窓から顔は出しま[illegible]



知らぬ[illegible]つく